

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準面積に対し、6倍以上のスペースにて支援を提供しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			人員基準を常に遵守して支援を提供しています。また、保育士・児童指導員・介護福祉士・作業療法士等の有資格者も人員基準以上に配置して支援を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		必要な物、あると不都合な物を考慮した上で可能な限りの配慮を行っています。また、後に必要となった設備についても随時改善・改修を行っています。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			支援はもちろんの事、業務全体に対し常にPDCAサイクルを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		今回から始まった取り組みではありますが、支援の軸を大切にする為にしっかりと精査させて頂いた上で、評価表を活用した保護者様の意向についても可能な限りこれからも反映していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに掲載。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現状として、三年に一度定期外部評価を受けています。外部評価を受けた上で支援の質や利用者の利益にどうつなげていくのかの検討を、頻度と内容ともに続けています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		(off-job) 提案、選択肢の提供はしているが休業せずに全ての職員に対し研修機会を提供する事が困難となっている。実状として数名が年に数回程度の頻度となっている。(on-job)積極的にしている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメント、モニタリング、面談を通して保護者と支援者の共感、利用者の今と将来を大切にしたい支援計画を作成している。保護者様との面談については定期的、臨時的どちらについても、より密接に行って行く事が課題。

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールは所持しているものの、標準化されたツールに当てはめて状況を推し量る事はなかなか難しい部分が多いと考えています。日常全てに点在する困難や小さい変化等を記録・把握し、優先順位・生活への影響・保護者のニーズ等を考慮した上で支援方針へとつなげスタッフ全体で共有する方法をとっています。前記を満たすツールを作成する事が出来ないかは検討を続けています。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全支援スタッフにて毎日、支援に関するミーティング・会議を行っています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			一日一日の変化や環境・状況に合わせた支援を常に考え、一年を通して固定化せず、必要に応じた様々な活動を行っています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	生活の中で様々な部分に起こる課題について、対処・分析・共有・取組み・改善・継続・情報提供を行う支援方針をとっています。その課題についてどれだけ生活上での苦しさや緊急性があるかにもよりますが、通常は一部の事に偏る事なく幅広い成長を促せるように、事前に細かく課題を決めてその達成度を意識するような事は行っていません。但し、平日と休日、長期休暇は施設での過ごし方や時間も大きく変わりますので、活動に応じた目的を認識して支援を行っています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援を行っている為、支援計画上も両面からの視点で作成されていると思います。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日必ず行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後は特定のスタッフ間および施設への報告は行っています。全体での共有は雇用形態や勤務時間の都合上、翌日の支援前に行っています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日必ず行っています。
⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に全体を見直すとともに、日々の変化に合わせて常に判断しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			「育む」という事に必要なあらゆる事を組み合わせ活動を行っていますので、当然ガイドラインに記載の様々な活動は網羅していると思います。

関係機関 や保護者との 連携関係機関 や保護者との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		管理者および児発管が両者とも常に支援全体に精通し、各所担当者間の窓口として参画しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		可能な限り行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、該当者はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		可能な限り行っていますが、情報を頂けない見えない部分は存在します。施設として必要性は感じていますので、改善に努めたいと思います。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		相談支援事業者を通して可能な限りの情報提供は行っています。保護者の許可・依頼があった場合には当施設で出来る限りの情報提供・援助は積極的に行わせて頂きます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	現状では、左記の機関からの助言や研修は受けていませんが、県や国が進めている研修等や教育関係機関の集まりにはしっかりと参加させて頂いています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現実的に難しいです。現状の利用者の障害程度や通っている学校等の状況を鑑みると、色々な部分の差がとても大きく、左記の交流で良い影響だけ供与する事は困難だと考えています。交流の可能性については今後も検討を続けていきたいと考えています。
	㉗	(地域自立支援)協議会へ積極的に参加しているか			○	現状では積極的に参加はしていませんが、利用者の利益になるような参加については今後も探していきたいと思っています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			可能な限り行っています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者の意向により、必要に応じてペアレント・トレーニングを行っています。ただ、基本的に家庭では親としての考えを大切にしたいと考えていますし、施設で行う支援の影響や成長が自然と家庭でもにじみ出てくる事で全体をプラスに進める事を目標にしていますので、課題の取組み方・工夫を教えて欲しい・施設ではどう考えるか教えて欲しい等に対して助力（影からの支え）が出来ればと考えています。	

保護者への説明責任等	③〇	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時、変更があった場合には丁寧・確実に行うようにしています。	
	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		意向に応じて可能な限り行っています。	
	③②	父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者間の交流や保護者会の開催等の活動は良い点もあるかと思いますが、保護者にとってデメリットも多く、現実的には難しいと考えています。直接の交流でなくてもプラス面だけの交流が出来ないかは今後も検討して行きます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を頂くこと自体がほとんどありませんが、普段から不安や相談、困りごとが苦情にならないような関係を築く事をを全職員が心がけ、常に対応出来る体制を整えています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	活動内容については、連絡帳やご利用者専用ブログにて発信しています。行事予定決定についてはご利用者の状況に合わせて直前に行う事が多く、どうお伝えしていくか課題となっています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			細心の注意をもって業務を行っています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			可能な限りの配慮を行っていると思います。
非	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っているか			○	課題が多くありますので、イベントに地域住民を招待する事は現在出来ておりません。地域に限定した活動に対してはメリット・デメリットを考えると難しく思っていますが、広く社会と交流を持ち両者の繋がりを築いていくという点については様々な活動を通して積極的に行っています。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員への周知徹底を行い、契約時に可能な限り説明しています。今後は定期的に情報の再配布を行う事も行っていきたいと思っています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に行っています。
	④〇	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	虐待防止の為の対策、管理、社内研修・管理者の外部研修受講を行っています。他の職員の外部研修参加は今後増やしていきたいと考えています。

常時等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについての基準の周知徹底を行っています。但し、上記はもしもの場合であり、全利用者に共通する事項で、日常的に身体拘束を行う必要性は現在ありませんので支援計画の記載は行っていません。また、現状で日常的に身体拘束を必要とする利用者もいません。
	④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	該当者なし
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所で内共有しているか		○	ヒヤリハットがあった場合は報告書に記録するとともに、すぐに従業員間で情報の共有をするよう心掛けていますが、事例集の作成は行っていません。今後、改善していきたいと思います。